

## EDS患者の皆様へ

このカードは、日本エーラスダンロス症候群協会（友の会）が、当会にご協力  
いただいている医師のアドバイスを受けて作成したものです、  
あくまで一般的な情報に基づくものであり、必ずしも最新・正確な情報で  
あるとは限りません。またその確実性・有効性を当会や協力医が保証するものでは  
ありません。

エーラスダンロス症候群は、同じ型でも症状の出方が異なることが多いため、  
カードをお使いの際は主治医とよくご相談の上、ご自分の症状に合わせて引き消し、  
書き加えなどしてご利用ください。

このPDFは <http://ehlersdanlos-jp.net/> に掲載されているものです。  
現在のところ印刷物やプラスチックカードなどはありませんので、  
プリントしてご利用ください。  
また、予告なく改訂することがありますので、ご注意ください。

ご意見や活用アイデアがあればぜひ [info@ehlersdanlos-jp.net](mailto:info@ehlersdanlos-jp.net) まで  
お寄せください。

このカードがみなさまの生活のお手伝いとなれば幸いです。  
どうぞお大事に！

日本エーラスダンロス症候群協会（友の会）

<p><b>救急時要注意</b>      このカードの携帯者には、十分な注意が必要です。</p> <p>病名：結合組織疾患 エーラスダンロス症候群 古典型 (Ehlers-Danlos Syndrome EDS, Classical type)</p> <p>EDSは遺伝性の結合組織疾患の一つで、主にコラーゲンに関連する結合組織の先天性代謝異常が原因とされ、6つの型に分類されています。(古典型、関節過可動型、血管型、後側彎型、多発性関節弛緩型、皮膚脆弱型)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・皮膚が伸びやすく(過伸展が大きく)、けがを起ししやすい体質です。</li><li>・けがを起した際には傷口が大きくなり、傷の治りが遅く癒痕を形成することが多くなります。</li><li>・けがの際にはできるだけ早く外科医、形成外科医を受診し、縫合の際に注意して対応してもらうことが重要です。</li></ul> <p>Ver. 1 日本エーラスダンロス症候群協会(友の会) <a href="http://ehlersdanlos-jp.net">http://ehlersdanlos-jp.net</a></p>	<p><b>救急用情報</b>      注：情報の記入に当たっては、かかりつけ医と相談の上 記入の事。</p> <p>名前：<input type="text"/></p> <p>緊急時の連絡先：<input type="text"/></p> <p>かかりつけ医情報</p> <p>病院名：<input type="text"/></p> <p>主治医名：<input type="text"/></p> <p>連絡先：<input type="text"/></p>
---	--